

第 37 回全国障害者技能競技大会

102 家具 競技課題A

次の注意事項及び仕様に従って、支給材料及び使用工具一覧表に掲げるものを使用して、課題図に示す作品（花台）を製作しなさい。

1 競技時間

標準時間 5時間30分 打ち切り時間 6時間

2 注意事項

- (1) 支給された材料の部品名、寸法及び数量が「4 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、競技委員に申し出ること。
- (3) 競技開始後の支給材料の再支給は認めるが、この場合は、減点の対象になる。
- (4) 使用工具及び使用機械は、別紙使用工具一覧表に示すものに限る（工具一覧表に示していない墨付け用の型板や位置決め用の定規などは、競技に使用できない）。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業においては、家具製作作業に適した作業服、作業靴、及び作業帽を着用すること。特に、そで口、すそ及び髪の毛等が機械に巻き込まれないよう注意すること。
- (7) 卓上ボール盤、角のみ盤及び電動ドリル使用時は必ず防塵メガネを着用すること。
- (8) 卓上ボール盤及び角のみ盤を使用する作業については、競技員の指示に従って行うこと。
- (9) 角のみ盤を使用する作業は、テーブル傾斜をせず治具を使用して行うこと。
- (10) 競技作業が終了したら、作業を終了した旨を競技員に申し出て、作品と現寸図を一緒に提出すること。
- (11) 競技中は、試験問題以外の用紙にメモをしたものや参考書等を参照することは禁止とする。
- (12) 競技中は、携帯電話(電卓機能の使用を含む)等の使用を禁止とする。

3 仕様

- (1) 作品の製作は、必ず現寸図(脚部の側面図)を描いた後にとりかかること。
- (2) 甲板①と甲板②の接合は、5枚組み接ぎ（上端留め）とする。
- (3) 前後の脚と幕板の接合は、小根付きほぞ接ぎとする。（ほぞ穴加工には、角のみ盤を使用してもよい。ほぞの加工は、手加工に限る。）
- (4) 前後の脚と貫の接合は、二方胴付きとする。（ほぞ穴加工には、角のみ盤を使用してもよい。ほぞの加工は、手加工に限る。）
- (5) 左右の脚と幕板の接合は、前後とも、だぼ接合（ $\phi 10\text{mm}$ ）とする。
- (6) 脚貫とつなぎ貫の接合は、片胴付きほぞとする。（ほぞ穴加工には、角のみ盤を使用してもよい。ほぞの加工は、手加工に限る。）
- (7) 甲板と脚部の取り付けは、木ねじ締めとする（木ねじの下穴加工には、卓上ボール盤または電動ドリルを使用する）。
- (8) 仕上げは、かなな仕上げとし、サンドペーパーを用いてはならない。
- (9) 各部材は、課題図に示した面をとること。ただし、それ以外の箇所は糸面とすること。
- (10) 脚については、採点の関係上「脚先面」を取らないこと。
- (11) 甲板①と甲板②、脚部の穴部材とほぞ部材（幕板・脚貫）については、加工及び仮組み調整が完了後、検査を受けて、組み立てに着手すること。
- (12) 組み立てには、酢酸ビニル樹脂エマルジョン接着剤を用いること。

4 支給材料

単位：mm

No	部 品 名	寸 法			数量	備 考
		長さ	幅	厚さ		
1	甲板 (1)	610	301	20.5	1	ラワン材又はこれに準ずるもの
2	甲板 (2)	120	301	20.5	1	〃
3	前脚	500	46	28.5	2	〃、テーパに加工済
4	後脚	490	46	28.5	2	ラワン材又はこれに準ずるもの
5	幕板 (側)	200	46	22.5	2	〃
6	幕板 (前)	460	47	22.5	1	〃
7	幕板 (後)	460	46	22.5	1	〃
8	脚貫	250	31	22.5	2	〃
9	つなぎ貫	500	46	20.5	1	〃
10	原寸図作図板	600	300	4	1	シナ合板
11	木ねじ	45	呼び径 4.5		8	プラス [十字穴付き皿木ねじ]
12	接着剤				若干	酢酸ビニル樹脂エマルジョン

使用工具一覧表

1. 競技者が持参するもの

No	品 名	規格・寸法(mm)	数量	備 考	No	品 名	規格・寸法(mm)	数量	備 考
1	両歯のこぎり	240~270	1	替え刃式も可	20	ほぞ (のみ) けびき	9.5 程度	1	
2	胴付のこぎり	240~240	1	同 上	21	長さおけびき	500 程度	1	
3	ほぞびきのこぎり	210~240	1	相当品も可	22	玄のう	中	1	かなづちも可
4	平 (手) かんな	中・仕上げ	各 1		23	端金	600・750	1	
5	小かんな	30 程度	1		24	平行クランプ	150~200	各 4	Fクランプも可
6	きわかんな	36 程度	1		25	ドリル	だぼ穴用	2 組	だぼ径に対応
7	長台かんな		1		26	ドリル	木ねじ下穴用	適宜	座ぐりドリルも可
8	追 (大) 入れのみ	9~36	適宜		27	ドライバ	プラス : 呼び径 4.5 用	適宜	電動も可
9	向待ちのみ	9	1		28	だぼ	φ 10mm	適宜	
10	薄 (突き) のみ	9・24	各 1		29	角のみ盤用治具		適宜	ほぞ穴あけ用
11	かき出しのみ		1	もりのみも可	30	鉛筆・消しゴム		1	墨付け用
12	ものさし	1000~600 程度 (1mm 目)	1	コンパクトも可	31	座布団、毛布等敷物 等	支給材料の養生にも 使用	適宜	作業姿勢、高さ の調整時に使用
13	さしがね	450~500 程度	1	大矩も可	32	のりべら		適宜	ブラシも可
14	ノギス	200・1/20 精度	1		33	打ちあて	クランプ 用の当て木にも 使用	適宜	
15	直角定規 (スコヤ)	200 程度	1		34	といし		1	
16	斜め定規	200 程度	1		35	油つぼ		1	
17	挽き当て定規	直角胴付きびき 用	1		36	作業服、作業帽、作 業靴		一式	作業に適したも の
18	白書き		1		37	防塵メガネ		1	
19	筋けびき		1		38	飲料		適宜	水分補給用

※注 1 使用工具等は、上記のものに限るが、同種のものについては、予備工具を持参してもよい (但し、同種
のものは3個以内とする)。

2 一覧表に記載されていても、競技者が必要ないと判断した工具については、持参しなくてもよい。

3 競技課題専用に位置決めされたけびき及び加工された治具、工具の使用は不可とする。

4 「飲料」については、熱中症対策も兼ね、各自で競技会場の状況や天候等を考慮の上、持参すること。

2. 競技場に準備してあるもの

No	品 名	規格・寸法 (mm)	数 量
1	立式作業台	1800×900×700 程度	選手1名につき1台
2	座式作業台	1000×300×100 程度	〃 1台
3	摺り台	1000×100×30 程度	〃 1個
4	のこびき台	330×150 程度、2個組	〃 1組
5	角のみ盤	9.5用 キリ・箱のみ付き	1台 (角脚のほぞ穴加工用)
6	電動ドリル	ドリル 2.5・4.5 付き	1台 (チャック径 6.5mm)
7	卓上ボール盤	ドリル 10.0 付き	1台 (チャック径 13mm)
8	機械側置	600×400×700 程度	3台
9	マグネットベース	吸着力 60kg 程度 角型	2個 (卓上ボール盤の当止用)
10	隙間ゲージ	0.03mm～1.00mm	全体で1組
11	手許照明	100V 27W 立式作業台取付け式	選手1名につき1個
12	コンセント	AC100V、2口	〃 1個 (手許照明・電動工具用)
13	折りたたみ椅子		〃 1脚
14	ボンド刷毛	竹柄	〃 1本
15	バケツ	10リットル程度	〃 1個
16	プラスチック・パレット	リスコンテナ ST-28B相当品	2個 (刃物研磨用)
17	草ほうき	柄短	選手1名につき1本
18	ちりとり		選手1名につき1個
19	ウエス	綿、1束2kg	全体で1束

縮尺 : 1/2 1/10
 単位 : mm

